

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

関川村立関川中学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・道徳

目標・人権教育のねらい

令和2年度、全校対象に行った人権アンケートでは、子どもの権利条約を知っている生徒が10%未満と少なかった。全校道徳で子どもの権利条約を学ぶ授業を行った。生徒の感想から、「自分たちにどのような権利があるのか知ることができた」等、肯定的な意見が多かった。反面、自分ごととして捉えている生徒は少なかった。そこで令和3年度は、対話の生まれるアクティビティーを通して、生徒が子どもの権利に関する課題について、より深く、より身近に考え、一人一人が考えを発表することをねらいとした。

実施した内容

- ・認定NPO法人開発教育協会「ワークショップバン・世界がもし100人の村だったら」より、「世界の人種の割合」「世界の子どもたちの割合」「食料事情・貧困」「文字が読めること」についてのアクティビティーを体験し、世界や日本の現状について意見交換を行った。
- ・これから社会に出る自分たちが、どう行動するべきか、何ができるかを一人一人考えた。

工夫した点

- ・全校生徒が体育館に集まり、対話の生まれるアクティビティーや役割演技を小グループごとに行った。
- ・全校生徒を100人の村の住人とし、世界の人口を100人に縮めた場合の一人一人の役割を与え、世界の状況、子どもが置かれている現状をアクティビティーで体験することで、より自分のこととして理解できるようにし、意見交換をしやすくした。

他教科との
関連

社会科にて、公民分野で子供の国連の役割や子どもの権利条約について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

関川村立関川中学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

全学年（各学年・学級）・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・同和教育をはじめとする人権教育を通して人権感覚を磨き、思いやりのある生徒を育てる。
- ・自他を大切にして行動できるよう『生きる』を活用するなど、同和教育を中核にした人権教育を推進する。

実施した内容

- ・各学年3回、同和教育教材生きるⅣを活用した公開授業を行う。学年ごとの授業案検討会と授業後の授業研修会を全職員で行い、データの蓄積と授業改善を行う。
- ・1年生：人権の歴史（生きるⅢ）、人の値うち～江口いとさんの半生～（生きるⅣ）、ハートで挑戦（生きるⅣ）。2年生：春遠からじ（生きるⅣ）、教科書がほしい～高知・長浜の教科書無償闘争をめぐって～（生きるⅣ）、Aさんの歩んだ道（生きるⅣ）。3年生：水平社創立と立ち上がった人々（生きるⅣ）、峠（生きるⅣ）、就職差別をなくすために～ある青年の手記より～（生きるⅣ）

工夫した点

- ・生徒たちが差別を自分ごととして捉えられるよう、授業展開とワークシートの工夫した。
- ・授業展開で、差別との出会い、差別を見抜く、差別への憤りといった場面に、役割演技などを効果的に入れ、生徒が問題に迫ることができるよう工夫した。
- ・ワークシートの最後の質問・まとめは自分ごととして考えられるよう、その場面に自分が登場人物として参加している視点をもたせ、差別している人、差別されている人、差別と闘っている人に自分はどうかかわれるかを考えさせる。

他教科との
関連

社会科にて、歴史分野で江戸時代の身分制度について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

関川村立関川中学校

人権課題

インターネットの人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・インターネットで差別的な情報、人権侵害に出会ったとき、自分はどうすべきかを考える。
- ・人権侵害、差別に出会ったときの行動、自分ができることを考え、よりよい情報化社会を築くための態度を養う。
- ・インターネットの現状、特性、インターネットによる差別とは何か等について、情報リテラシー学習を行い、正しい知識を身につける。

実施した内容

- ・大人や教師たちが知らないところで、子どもが差別的な情報を知ってしまう場面を、朗読劇で全校生徒に問題提起する。
- ・演者だけでなく、劇中、フロアの生徒に質問を投げかけ、タブレット（ICT機器）を利用して回答させ、結果を提示しながら劇を進める。全員参加の場とする。
- ・学校で正しい知識を学び、差別や偏見を生まないための自分の考えを発表する。

工夫した点

- ・生徒代表による朗読劇で問題提起することで、見る側がインターネットによる人権侵害や差別が、より身近な自分ごととして捉えやすくなるよう工夫した。
- ・劇中の場面で、質問を全校生徒に投げかけ、その処理にタブレットを活用したことで、結果をすぐに生徒に返すことできた。より臨場感が高まり、生徒の一体感、自分ごととして捉えやすくなる工夫をした。
- ・全校生徒が小グループに分かれ、意見を書き合い、まとめた用紙を廊下に掲示して何度も読み返せるようにした。

他教科との
関連

技術・家庭科にて、情報モラル学習でネットのルールやマナーを学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

関川村立関川中学校

人権課題

北朝鮮当局による拉致問題

対象学年・
取り扱った教科等

中学1年生・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・人権課題として、「拉致問題」が存在していることに気づき、被害者家族の憤りに共感することができる。
- ・「拉致問題」など、人権侵害は許されないことであり、「いじめ」や「差別」など身近な人権に関する事象についても、絶対に許さないという気持ちをもつことができる。

実施した内容

- ・DVD教材アニメ「めぐみ」を視聴し、「拉致問題」の実態を学んだ。
- ・最近のニュースやネットなどのメディアから、昔の事件ではなく、今なお解決されず残っている問題であることを学んだ。
- ・私たちができることを小グループになって考え、意見交流を行った。

工夫した点

- ・今なお残る問題として、めぐみさんが拉致された11月15日前後に授業を実施した。
- ・ニュースやその他の拉致被害者の話などを入れ、身近な問題として捉えやすく、自分ごととして考えられるよう工夫した。
- ・自分たちが、これからどう生きていくべきかを考え、めぐみさんとその家族に送るメッセージを書く場を設定した。
- ・北朝鮮の人たちは、私たちと同じ人間であることを忘れないよう説いた。

他教科との
関連

社会科にて、歴史の学習や公民の人権侵害について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

関川村立関川中学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・道徳

目標・人権教育のねらい

LGBTについての情報は各種メディアやネット・Youtubeなどでも多数流れており、興味関心をもっている生徒も多い。しかし、セクシャルマイノリティについて正しい知識をもっている人はまだ少なく、間違った情報・知識で差別を拡散してしまう危険性がある。まず、正しい知識を学び、セクシャルマイノリティの人たちの悩み、苦しみを知り、誰もが生きやすい社会、誰もが差別されない社会をつくることを目指し、みんなのできることを考える。

実施した内容

- ・「多様な性ってなんだろう ～LGBTについて、良心より知識～」(出展：認定NPO法人 ReBit) から指導案、動画、ワークシートを利用して全校で意見交換 を行った。
- ・見た目や勝手な思い込み、心ない一言で相手を傷つけてしまう危険性を考えさせ、自分がこれからどう生きて、何ができるのかを一人一人考えた。

工夫した点

- ・インターネットより動画を利用し、全員で視聴した。
- ・ワークシートやイラストをスライド資料にして提示した。
- ・全校生徒が体育館に集まり、意見交換を行った。

他教科との
関連

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

関川村立関川中学校

人権課題

新潟水俣病患者に対する差別

対象学年・
取り扱った教科等

中学2年生・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・新潟水俣病の原因追及や公害病認定に向けて、苦しみに負けず差別や偏見に立ち向かっている小武さんの生き方を通して、差別や偏見に屈することなく、立ち上がっていくことの大切さに気づき、新潟水俣病問題の早期解決を目指して行動しようとする気持ちを高める。
- ・新潟水俣病問題を解決するために、これからどう生きていくかを自分の問題として捉え、未来への歩み方を考える。

実施した内容

- ・新潟県環境と人間のふれあい館から出されている資料とDVDを視聴し、新潟水俣病の歴史や背景、そして現在について学んだ。
- ・生きるIVを活用し、資料から小武さんの生き方や新潟水俣病患者やその家族に対する偏見や差別が解消されていないことを学び、今もなお苦しんでいる人、闘っている人の気持ちにより添い、自分たちができることを話し合った。

工夫した点

- ・学年を小グループに分け、話し合いの後、各グループが意見を模造紙にまとめ、発表したり、掲示したりして意見の共有化をした。
- ・新潟県環境と人間のふれあい館から出されている資料を配付したり、DVDを視聴したり、実態の把握など問題や現状を捉えやすいよう工夫した。
- ・小武さんの生き方に自分を投影し、自分の意見をもちやすくなるよう工夫した。

他教科との
関連

社会科にて、歴史や公民分野で公害病や訴訟について学習した。